

日田市町並み保存審議会開催

平成二十九年度
第二回

平成二十九年度第二回目の町並み保存審議会が、一月三十一日（水）咸宣公民館で開催されました。会議では、三〇年度以降の伝建修理補助事業として、「富安順子家座敷の二階屋根修理工事と長尾昭文家（港町の旧高瀬家）の修理工事について審議・承認されました。

なお長尾家については、軒先の衝突事故防止対策を講じる事が申し添えられました。

又、三〇年度の防災事業として、屋外消火栓を二基設置することも承認されました。



次年度以降の修理事業について審議した町並み保存審議会

又、報告事項として、現在修理を行っている長福寺の常灯明堂と仙崎家主屋の修理状況や街なみ環境整備事業による「東屋新築工事」の進捗状況が説明され、三月末には全て完了する事が報告されました。

文化財防火デー 防火訓練行なわれる！

一月二十六日（木）、第六十四回文化財防火デーに併せて、豆田でも防火訓練が行なわれ、伝建役員を含め三十七名が参加しました。

交流館裏の広場にて、屋外消火栓を使った放水訓練を行ないました。



豆田分団の指導を受け、放水訓練を行なう住民の皆さん

花月川整備の地区説明会開催

昨年の北部豪雨で甚大な被害が出た花月川の河川整備をどう進めるかについて、国土交通省筑後川河川事務所主催で豆田地区で説明会が開催されました。

一月十七日の城町を皮切りに一月二十四日には豆田第一・豆田第二・丸の内町、一月二十五日には丸山町、一月二十六日には港町・中城町・淡窓町でそれぞれ行われました。

具体的には一新橋と御幸橋をはさむ約八〇〇mについて川幅も狭く急カーブになっている事より、この部分の河道を拡幅することにより、水害被害を軽減しようとする工事内容が説明されました。

二月末より六月にかけて、関連する地区に測量調査を行い事業を進めて行く予定となっています。



写真は丸の内公民館で行われた豆田第一・豆田第二・丸の内町対象の説明会

豆田下町山鉾製作 中間検査終了

二月十日（土）、別府大学の段上達雄先生と熊本大学の伊東龍一先生が、平成二十九年度の日田祇園山鉾保存修理事業として復元新調作業を行っている豆田下町の作業状況を監修するため来訪しました。

両先生は豆田下町の町内に臨時に組み立てられた山鉾を検査し、大工仕事を請負った桜木総合建築の桜木昇社長に、横木の大きさや柱の寸法について図面通りにできているか確かめていました。

又波多野平会長からは、明治二六年に製作された助板の文字が「平恕」であった事からこの文字を使って助板を製作している事などが説明されました。

今後は、部材の塗装や屋根の作成などの工程を経て六月には完了との事です。



作業の進捗状況を確認する伊東・段上の両先生

クンチヨウ酒造で蔵開き！

二月十一日（日）、豆田の「ひなまつり」のプレイベントとして、「クンチヨウ酒造・蔵開き」が行われました。

この日は地元住民や清酒ファンのお客が押し掛け、プレミアム限定酒や無濾過生原酒を買い求めていました。また、酒粕詰め放題のイベントには多くの人で賑わっていました。



「彩の会」の皆さんによる「田の酒づくり」歌の披露



オープンイベントで行われた岳滅鬼太鼓の演奏と獅子舞

初午祭行なわれる！

二月七日（水）廣瀬本家所有の源兵衛稲荷と、二月十一日（日）三本松の商工会議所横の稲荷様で、それぞれ初午祭が行なわれました。

三本松の稲荷様では、参拝者にお米や酒が当たる福引きが行なわれ、特賞などが当たると歓声が起こっていました。



神官の祝詞に併せ、源兵衛稲荷に参拝する豆田町住民の皆さん



三本松の特設テントでは「抽選会」が行われ、多くの参拝者が参加しました

子供の成長願って「流し雛」

三月四日（日）、桂林荘公園で開催された「流し雛」行事は好天に恵まれ、遠くはフィリピンからの観光客を含め、約八〇〇名が参加して行われ、春の雅な行事を堪能しました。

また、公園内では野点や琴の演奏も同時開催され、野点には用意した五〇〇名分の抹茶や茶菓子も午後一時三〇分までに無くなるなど、盛会のうちを終了しました。



城内川に設置された特設舞台から、願いを書いた「紙雛」を流す参加者



竹内社中の皆さんによる、野点の接待。



立花社中の皆さんによる琴の演奏

マラソン豆田を駆け抜ける

三月十一日（日）行われた天領日田ひなまつり健康マラソンには、千二百五十名の市民ランナーが参加し、古い家並が残る豆田町を走り抜きました。

ゲストとして都道府県対抗駅伝で有名になった湯田友美さんも市民ランナーと共に走り、沿道の皆さんに笑顔で声援に答えていました。



豆田の給水所で一休みの湯田選手